



商業分野に精通した専門性の高い授業、 難しい資格試験に挑戦できる環境

松本浩典さん

株式会社 北洋銀行勤務
2014年札幌啓北商業高校卒業・2018年小樽商科大学商学科卒業



啓北の特徴は、商業科目と英語に力を入れている点。高校生向けの簿記検定だけでなく、日商簿記検定の2級・1級や英検2級など、難しい資格試験への挑戦を後押ししてくれる環境も魅力です。商業分野に精通した専門性の高い先生が多いのも強みだと思います。印象的だったのは、3年生の商業科目で行われた模擬商取引の体験。グループごとに架空の会社を設立し、会社の方針などをプレゼンして出資者を集め、商品開発をして原価や予算、価格などを決め、最終的に利益が出たら株主に配当する、という実践的な内容が実に面白くためになりました。今後は、高校時代に勉強した簿記会計の知識を活かし、法人のお客さまや会社の融資に携わりたいと思います。

人権について研究した経験は、 報道記者としての今につながっている

幾島奈央さん

HBC北海道放送報道部記者
2013年札幌旭丘高校卒業・2017年北海道大学法学部卒業



旭丘高校の職員室は開放的で、勉強をマンツーマンで教えてくれたり、進路や部活の相談も親身に聞いてくださり、先生一人ひとりが生徒と前向きに関わろうとしていました。進学校は受験優先と思われがちですが、生徒は好きなことを深めようとしている人が多く、一人ひとりの「好き」を応援してくれる学校だったと思います。サンライズタイムの人権ゼミでは、「クローン人間の人権」について研究。人権について考え、調べ、発表する経験は、報道記者として働く今につながっています。3年間打ち込んだ放送局では、全国大会で最優秀賞を受賞しました。先生方や先輩、仲間たちのレベルも高く、一緒に番組作りに取り組んだ経験は今の仕事に生きていていると思います。

「SELF」の学びで身につけた、 自主的に考え、行動に移す力

吉野さくらさん

小樽商科大学1年
2019年札幌開成中等教育学校卒業



理系分野に興味があり、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)に指定されている開成に入学。4年次にJAXAの筑波宇宙センターでの研修や屋久島の縄文杉を観察する体験ができました。授業のグループ研究では、自分の好きな課題を研究でき、一般の方向けにも発表の場があり、大人にも対応するプレゼンテーションスキルが身についたと思います。学校の「SELF」という教育テーマにより、自主的に興味関心を見極めて研究テーマを見つけていく体験ができ、自分が何をすべきかを考え、行動に移す力がつきました。自分がやりたいことに素早くアプローチできること、未知の分野でも飛び込んでみるフットワークの軽さは、開成で養った力だと思います。

経験豊かな先生のもとで 学ぶことができる環境

庄内大涼さん

株式会社札幌ドーム勤務
2013年札幌藻岩高校卒業・2017年北海道教育大学旭川校卒業



藻岩高校は、文武両道を絵に描いたような校風。3年間野球に打ち込みましたが、勉強をおろそかにすると、部活は満足にできずチームに影響が出てしまうので、勉強にも力を入れました。野球部の監督は、地域に愛される活動をするべきだという考えから、環境に関するボランティア活動を推進。授業でも、豊平川の汚染物質調査や北大での環境に関するワークショップへの参加など、広い視野で学問に接する体験ができました。市立高校は先生の異動が少なく、異動してもつながりを持ちやすいので、今でも交流があります。また、専門性の高いコースを設置している他の市立高校から先生が異動してくることもあり、経験豊かな先生に学べることもメリットだと思います。

多様な国際交流や体験が、 幅広い分野に興味を持つきっかけに

反保智栄さん

札幌清田高校英語科教員
2009年札幌清田高校グローバルコース卒業・2013年都留文科大学文学部卒業



大学卒業後、民間企業に就職しましたが、会社員として働いているうちに教育の裾野の広さに気づき、教員の道へ。啓北商業高校で期限付き教員を務め、清田高校に正規教員として採用されました。清田高校は国際交流に力を入れていて、国際的な社会問題や人権問題などに精通している先生が多く、幅広い分野に興味を持つきっかけに。特に、JICAにてテレビ電話で海外の高校生と交流したり、アフリカの方から国の現状を話していただいたり、多様性を認める授業としてLGBTの方から話を聞いたり、当時としてはセンセーショナルな体験でした。大学での留学や教員への転職など、新しい世界へ飛び込む姿勢の基礎を作っていたのだと思います。

先生の熱意ある指導により、 自分を客観的に見直せるように

梅村拓未さん

北海道教育大学大学院教育学研究科
2013年札幌新川高校卒業



新川高校は、部活にも勉強にも力を入れている生徒が多く、それを先生方が熱意を持って支える、まさに文武両道の学校。入学当時はまだ幼い部分がありますが、先生からの指導で自分を客観的に見直せるようになりました。部活はサッカー部でしたが、毎日ノートをつけて成果や反省点、先生や仲間と話したことなどをまとめることで、自分を客観視できるようになり、この経験は今の自分の血肉になっています。学校の雰囲気はとても活気があり、パワーのある生徒が多かったですね。部活も、勉強も、学校祭などの行事も、前向きで全力投球。大学に入って、改めてこの学校の素晴らしさを実感し、仲間たちとともに過ごした3年間を誇らしく思います。

多種多様な生徒が集う学び舎で、 さまざまな価値観や考え方に触れる

舘岡佑人さん

社会福祉法人 北ひろしま福祉会グリーンパーク北ひろ勤務
2014年札幌大通高校卒業・2018年北星学園大学社会学部卒業



幼い頃、交通事故で高次脳機能障害となり、小4から中学まで特別支援学級に通い、16歳から市立札幌豊明高等支援学校に進学。高校2年時に先生から「通常高校に行けるんじゃないか」と勧められ、大通高校に入学しました。ここは、多種多様な生徒が集う学び舎。不登校から立ち直ろうとする人、さまざまな国籍の人、LGBTの人…など、いろいろな価値観や考え方に触れ、別の視点や発想を知ることができました。生徒会に思い切って挑戦し、日米青年交流プログラムでアメリカに行き、学生とESD(持続可能な開発のための教育)について話し合ったのは大きな体験。社会福祉の仕事を通じ、差別や偏見のない社会を作りたいと思います。

美術的な考え方とスキル、 ものづくりに必要な資質が養われる

金子ひかるさん

株式会社ソルトワークス勤務
2015年札幌平岸高等学校デザインアートコース卒業・2019年秋田公立美術大学卒業



デザインアートコースは普通科の教育課程で美術の専門科目を学べる点が大きな魅力。美術の基本的な考え方や技法を広く学んで視野を広げ、絵画・デザイン・立体彫刻から選択した専門分野をとことん追究できる授業と設備が充実しています。授業と部活で制作に没頭した3年間は、正解のない課題を納得するまで考え続ける忍耐力と、目標へ突き進む根性を養ってくれました。ウェブデザイナーとしてのものづくりを手がける今、これらの資質が役に立っています。美術を愛する仲間や、作品に取り組む姿勢をきちんと見てくれた恩師との出会いも大切な財産。学費負担が少ない公立高校でこれほど濃密な経験ができる平岸高校は、美術を志す人には申し分のない環境だと思います。